

自治会活動の活性化をめざして

深津自治会推進委員会

事業費 177,967 円

助成額 60,000 円

●当初の課題・事業目的

深津自治会において地域での人間関係が希薄になりつつあり、役員のみ手がなく、役員の高齢化が問題となっており、自治会の存続が危ぶまれる。

住民自治のあり方を検討するために、長期的課題に取り組む組織「推進委員会」を立ち上げ、その中で自治会未加入の地域住民への広報に取り組むと共に、自治会員の中から役員候補者の発掘に繋げる事で、安定した自治会活動を推し進める。



委員長 和田 健二

●事業概要

自治会員及び町内にお住まいの方に、深津町自治会に関する意識調査のアンケート調査を、書面・対面で実施した。自治会が必要と回答した方は、43名中13名、不要は26名、わからないは4名の回答。不要と答えた26名もイベントには参加しても良いと回答。その結果を考慮し、親子で参加できるイベントを四季に行う伝統行事を取り入れて、七夕まつり、ハイキング、クリスマスイベント等を企画した。七夕まつりはコロナの関係もあり、深津公園・深津西公園で行い、子ども69名の参加があった。

地域の住民に対しての広報をネットを使って配信する仕組みづくりのための勉強会の講師を町内で募集したが見つからず、他自治会で情報収集したところ業者の紹介を受けた。現在は西宮市内の大学等に協力依頼し、情報交換を行っている。



●事業の成果・工夫した点

書面での広報で住民の情報を収集するにあたり、返信先をメールや会館へのポスティング、郵送も可能とした。そのため、子どもの参加のイベントは親子を合わせると毎回80名以上の参加があった。また、保護者がイベントのお手伝いを申し出てくれ、役員も1名ではあるが来期より参加してくれる事になった。

●苦労した点・今後の課題

ネットに関する情報をお持ちの方が地域内ではなかなか見つからなかった。深津自治会にとってより良いネットの活用を考えているので、即業者へ依頼することは控え、今後の展開を模索している。

●代表者の感想

勉強会のアンケート調査で、継続して開催して欲しいという意見が大半であった。また、子ども参加のイベントは公園など外で実施したが、「次はいつ？」と聞かれ、子どもの笑顔が印象に残った。